

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	12-077	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption and risk of type 2 diabetes in European men and women: influence of beverage type and body size The EPIC-InterAct study. ヨーロッパにおける飲酒量と2型糖尿病発症リスクの関連：体格と酒類の評価		
執筆者		
Beulens JW, van der Schouw YT, Bergmann MM, Rohrmann S, Schulze MB, Buijsse B, et al		
掲載誌		
J Intern Med. 2013 Apr;273(4):422.		
キーワード		
飲酒、飲物、BMI、性、2型糖尿病		
要旨		
<p>目的： 飲酒量と2型糖尿病の関連について分析し、その関連が、性、BMI、飲み物の種類に影響されるかを調べた。</p> <p>方法： ヨーロッパの8か国からなるEPIC研究、多施設ケースコホート研究を用いた。ベースライン時の参加者から16,154名のコントロール群と12,403名の2型糖尿病症例群を設定した。飲酒状況はアンケートから評価した。2型糖尿病の発症は主に本人からの聞き取りによるが、複数の調査により確認を行った。</p> <p>結果： 男性では適量飲酒は糖尿病の低リスクと有意な関連は認めず、食事や糖尿病の危険因子で調整して6.1-12.0g/day群は0.1-6.0g/day群に対してHR=0.90 95%CI 0.78-1.05であった。24.1-96.0g/dayの大量飲酒群で糖尿病発症リスクが最も低く、HR=0.86 95%CI 0.75-0.98であった。女性では、適量飲酒は糖尿病発症の低リスクと関連しており、6.1-12.0g/day群は0.1-6.0g/day群に対してHR=0.82 95%CI 0.72-0.92であった(P<0.01)。飲酒量と糖尿病発症の逆相関は、男女ともに、非肥満者と比較して、肥満者(BMI25以上)でより顕著であった(P<0.01)。ウエスト、ヒップ周囲径で調整しても男性では傾向は変わらなかったが、女性では飲酒と糖尿病の関連を弱めた(HR=0.90 95%CI 0.79-1.03)。男性ではワイン、女性では酒精強化ワインの摂取が糖尿病発症リスクを最も低下させた。</p> <p>結論： 本研究では、適量飲酒と2型糖尿病発症の低リスクとの関連が認められるのは女性だけであった。このことから、糖尿病のリスク低下は脂肪の分布により説明される可能性が示唆される。飲酒量と糖尿病発症の低リスクの関連は、男女ともに、非肥満者より肥満者でより強いことが示された。</p>		